

## 総合的な学習の時間 学習指導案

### 単元名「夢への一歩 ～自分に合った将来の夢やお仕事を見付けよう！～」

令和5年10月 第6学年 指導者 岡田 悠亮

#### I 単元の構想

##### 1 単元観

本単元では、自己の生き方や将来の夢について考える。児童に将来の夢は何かを聞いた際、自分の家族やこれまで出会った人々との関係の中で知った限られた職業の中から選択していることが多かった。厚生労働省が発行している『職業名索引(2022年12月)』には、18,725種類の職業名が示されている。本単元の学習を通して様々な職業について知ることで、今まで以上に職業の選択肢が広がり、自分に合った将来の夢を見付けるきっかけとなつてほしいと考えている。

まず、自らのよさや特徴を児童が自覚できるようにするために「いいところみつけ」を行い、自分のよさや特徴を友達に教えてもらう。この活動により、自分では気が付かなかったよさや特徴、友達からどのように思われているかを知り、今以上に自己有用感を高めることができる。また、「様々な職業の方」、「外国籍の方」との交流を位置付けることで、仕事の内容や必要な資格だけでなく、その仕事をする上で求められる力に視点を当てて考えていくことができる。

このように、自分のよさや特徴と関連付けながら職業調べをすることで、今まで知らなかった職業に出会い、その職業に就くために今の自分に足りないものを見付ける中で、自分の生き方を主体的に見いだすことができるのではないかと考えている。また、自分のよさや特徴を知った上で仕事を選択することで、職業を選択する指針になったり、楽しく満足して仕事ができたりするため、予測不可能な時代においても充実した人生を歩むことができるのではないかと考え、本単元を設定した。

##### 2 研究との関わり

「他者と関わりながら、自己の生き方を考えられるキャリア教育の充実」を研究主題とした。将来の夢について聞いた際には、「ない」と答える児童が全体の21%、「〇〇関係の仕事が良い」と明確に将来の夢が決まっていない児童が21%であった。その原因として、日常生活の中で限られた職業しか関われないことや授業の中で多様な職業について知る機会がないため、自己の生き方を考えることが難しいのではないかと考えた。また、自分のよさを自覚していなかったり、よさに対して自信をもてなかったりする児童が多く、自分らしさを発揮しながら生活ができている児童が少ないように感じている。そこで、児童自身では気付かないような自分のよさを友達に教えてもらうことで、自分自身のよさや特徴を自覚できるようにする。そして、自覚したよさや特徴を基に、「職業調べ」「様々な職業の方との交流」「外国籍の方との交流」を通して様々な職業に必要な力を考えていくことで、これからの自己の生き方について考えられるようにしたい。

##### 3 単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	・将来の夢や職業について考えたり、実際に働いている人から学んだりする活動を通して、仕事をするために大切なことは何かを考え理解している。	・将来の夢や職業について考える機会が少ないため、将来の夢がなかったり、限られた範囲の中から職業を選択したりしている児童が4割程度いる。
思考力、判断力、表現力等	・仕事の魅力や仕事をする上で大切なことについて、情報を整理・分析し、意図や目的に応じてまとめ、説明することができる。	・調べたことを新聞などにまとめて発表することは経験しているが、意図や目的に応じて情報を取捨選択することについては十分でない。
学びに向かう力、人間性等	・仕事の魅力や仕事をする上で大切なことについて調べて伝える活動を通して、将来に希望をもち、自分の目標に向かって進んで努力しようとする。	・課題に対して進んで取り組み、解決しようとする児童が多い。

#### 4 評価規準

<b>知識・技能</b>	① 多くの種類の仕事があることを理解するとともに、実際に仕事をしている人に話を聞くことを通して、仕事をする上で必要な力などに気付いている。 ② 仕事に関わる調査活動を、パソコンや本、実地調査やインタビューを効果的に用いて実施している。 ③ 職業の種類や内容、働く人の思い等への理解の高まりは、職業について探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。
<b>思考・判断・表現</b>	① 職業調べや働くことを考える活動を通して、関心のある課題を設定するとともに、解決の方法を考えている。 ② 職業調べや働くことを考える活動に必要な情報を、調査する対象に応じた方法を選びながら収集している。 ③ 事象を比較したり関連付けたりして理由や根拠を明らかにし、情報を整理・分析している。 ④ 職業調べや働くことに向けた自分の考えを、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現している。
<b>主体的に学習に取り組む態度</b>	① 職業調べや働くことの意義を明らかにするという目的に向け、他者の考えを認めたり、自分のよさや特徴に気付いたりしながら、学習活動に進んで取り組もうとしている。 ② 探究的に活動を進める中で、自分と異なる意見や考えを生かしながら、協働して学び合おうとしている。 ③ 将来の夢と今の自分とのつながりに気付き、今の自分にできることを見付けて行動しようとしている。

#### 5 指導及び評価、ICT 活用の計画（全 54 時間：本時第 42 時） ※別紙参照

#### II 第 42 時の学習

1 **ねらい** 他者との関わりから、仕事をする上で「必要な力」について考える活動を通して、自分のよさや特徴と関連させながら、これから「必要な力」について考えることができる。

#### 2 展開

主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕 ★ICT活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。 （5分）</p> <p>S：「職場見学」「夢を叶えた人の話を聞く」「外国籍の方の話を聞く」の3つの活動から、仕事をする上で「必要な力」は何かを考えたな。</p> <p>S：3つの活動から、共通する「必要な力」は何かな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;めあて・課題・見通し等&gt; 自分のよさや特徴と関連させながら、これから「必要な力」について考えよう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>夢を叶えた人から、仕事をする上で必要な力は何かを考えた。名前</small>                  ○○力    ○○力                  ○○力    ○○力                  ○○力             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>職場見学から、仕事をする上で必要な力は何かを考えた。名前</small>                  ○○力    ○○力                  ○○力    ○○力                  ○○力    ○○力             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <small>外国籍の方から、仕事をする上で必要な力は何かを考えた。名前</small>                  ○○力    ○○力                  ○○力    ○○力                  ○○力             </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <span style="font-size: 2em;">➡</span> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <small>「夢を叶えた人」「職場見学」「外国籍の方」から、仕事をする上で必要な力は何か。名前</small>                  ○○力    ○○力    ○○力                  ○○力    ○○力    ○○力                  3つの活動から共通する                  「必要な力」             </div>	<p>○前時までの学習とのつながりを意識して本時の活動に取り組めることができるように、前時に記述した振り返りを確認するよう促す。</p> <p>○「必要な力」について考えるという目的意識をもつことができるように、これまでの3つの活動での学びを確認する。</p>

2 2学期に行った3つの活動に共通する「必要な力」について話し合う。(15分)

【★共同編集】【★保存・提出】

S : 3つの活動に共通する力はあるのかな。

S : 1学期に行った職業調べでも、「コミュニケーション力」が必要だって勉強したな。



○3つの活動で作成したカードを基に共通する「必要な力」を整理・分析できるように、ロイロノートに入力するよう指示する。

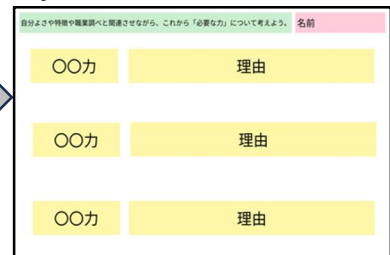
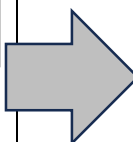
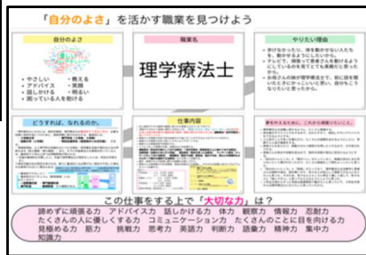
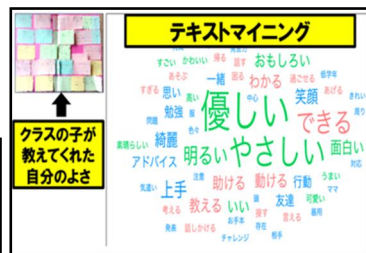
○自分の考えの根拠をより明確にしたり、友達の考えを取り入れたりするなど、今の考えよりよいものにできるよう、グループで話し合った後、他の班と考えを交流するよう促す。

3 自分よさや特徴や職業調べと関連させながら、「これから必要な力」について考える。(20分)

【★共同編集】【★保存・提出】

S : 3つの活動から「コミュニケーション力」が必要だと分かっていたけれど今の自分には身に付いていないので、これから身に付けられるように生活をしていきたい。

S : 友達が「判断力」が必要だと言っていて、私も必要だなと思った。



◎今後の自分自身の成長への意欲をもてるよう、自分のよさや特徴と関連させながら、これからの自分に必要な力を理由とともに考えるよう促す。

○必要な力をより具体的にできるよう、友達と書いたものを見せ合いながら助言し合うよう促す。

○学級全体ではどのように考えているのかを把握するために、児童が選択した「必要な力」をテキストマイニングして提示する。

4 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。(5分)

S : 今の自分に「コミュニケーション力」が足りていないことがわかったので、日常生活や学校生活を通じて身に付けられるように頑張っていきたい。

S : 将来の夢が変わったとしても、仕事をする上で必要な力を忘れずに、これから身に付けられるように日常生活で意識していこう。

◆評価項目

自分のよさや特徴と関連させながら、これから「必要な力」について考え。友達に伝えたりロイロノートに記述したりしている。 <ロイロノート(態③)>

本指導案に掲載されている商品又はサービスなどの名称は、各社の商標又は登録商標です。

Google スプレッドシートはGoogle LLCの商標又は登録商標です。

ロイロノート・スクールは、株式会社 LoiLoの商標です。

なお、本文中には ™ マーク、 ® マークは明記していません。

<別紙>

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全54時間：本時第42時）

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態
つかむ	1～5	<p>■児童自身が知っている職業を列挙したり、自分のよさを振り返ったりする活動を通して、どのような職業に就くことが望ましいのかを考えられるようにする。</p> <p>□将来の夢や希望について考え、知っている職業を出し合い、単元のゴールを共有する。</p> <p>□自分では気が付かない「自分のよさ」を知るために「いいところ見付け」を行う。(★あ)(★い)(★う)</p> <p>[単元の学習課題] 自分のよさを活かせる職業を見付け、仕事をする上で大切なことを明らかにしよう。</p> <p>[単元名] 夢への一歩 ～自分に合った将来の夢やお仕事を見付けよう！～</p>	①	①	①
追究する①	6～23	<p>■自分のよさを生かす職業を決めて調べる活動を通して、実現する方法を調べるとともに仕事をする上で大切なことは何かを考える。</p> <p>【課題の設定】</p> <p>□どのような職業があるだろうかという課題意識をもつ。自分のよさ(友達に教えてもらった自分も気が付かなかったよさも含め)を活かすことができる職業には何かあるのかを考える。(★あ)</p> <p>【情報の収集】</p> <p>□自分のよさを活かすような職業を見付ける。自分がなりたい職業を1つ選び、仕事内容や特徴等を調べる。(★あ)</p> <p>【整理・分析】</p> <p>□自分がなりたい仕事と他の仕事に共通する「必要な力」があるのかを考える。「必要な力」は1つではなく、複数列挙する。(★あ)</p> <p>【まとめ・表現】</p> <p>□仕事をする上で「必要な力」についてまとめる。他の仕事との共通点や追加したいことを書く。(★あ)</p>	②	②	②
追究する②	24～52	<p>■働いている人から話を聞いたり実際に仕事を見たりする活動を通して、仕事をする上で大切なことは何かを考える。</p> <p>【課題の設定】</p> <p>□仕事をする上で大切なことを知るためには、どのような方法で調べたらよいかという課題意識をもつ。(★あ)</p> <p>【情報の収集】</p> <p>□職場体験や外部講師に話を聞く中で、仕事をする上で大切なことを見付ける。(★あ)</p> <p>職場体験・・・学校周辺の事業所に行くため、児童が将来就きたい仕事とは限らない。(ii)</p> <p>外部講師・・・町の出身者で講演をしてくださる方(i)</p> <p>町のホストタウン及び共生社会ホストタウンの外国籍の方(iii)</p> <p>【整理・分析】</p> <p>□働いている人が考える「仕事をする上で必要な力」から、自分自身に必要な力や、他の仕事にも生かせるところがあるかを考える。(★あ)</p> <p>【まとめ・表現】</p> <p>□仕事をする上で「必要な力」についてまとめ発信する。4月や9月の自分と比較し、自分を見つめ直す。(★あ)</p>	②	②	②
まとめる	53～54	<p>■今後の生活に生かすために、1年間のまとめをポートフォリオに整理し、振り返りをする。</p> <p>□単元の振り返りとして、考え方が変わったことや成果をまとめる。</p> <p>4月に比べて、仕事に対する意識が変化したのかを考える。(★あ)</p>	③		

\*活用する学習支援ソフト等：(あ)ロイロノート (い)Googleスプレッドシート (う)テキストマイニング

\*活用する人材等：(i)保護者や地域の方 (ii)職場体験訪問先の方 (iii)外国籍の方